



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社  
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,488	16.9	53		37		124	
2020年3月期第1四半期	7,805	1.9	27		7		6	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 22百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 100百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	81.26	
2020年3月期第1四半期	4.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,124	3,141	19.8
2020年3月期	16,288	3,256	19.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,987百万円 2020年3月期 3,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期				60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点での2021年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,686,154 株	2020年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	157,600 株	2020年3月期	157,578 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,528,560 株	2020年3月期1Q	1,529,036 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、緊急事態宣言が発出され、経済活動が急速に停滞したことから、極めて厳しい状況で推移いたしました。また、緊急事態宣言の解除後は各種政策の効果もあり社会経済活動は徐々に持ち直しに向かいつつありますが、新型コロナウイルス感染症第2波の懸念など、景気の先行きについては不透明感が増しております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、化成品原材料価格が低位安定で推移したものの、個人消費は新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う自粛の影響により急激に減少し、主要顧客である百貨店をはじめとする小売業界向けの需要が大幅に縮小するなど、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、プラスチック資源循環戦略（2019年5月31日決定）の取組の一環として、2020年7月1日より全国一律でプラスチック製買物袋の有料義務化が開始され、前述の新型コロナウイルスの感染拡大とともに消費者のライフスタイルに大きな変革をもたらすことが予想されます。

このような環境のもと、当社グループは『お客様の多様なニーズと変化への挑戦』を主軸とし、営業部門においては「売上確保・拡大」「採算性の向上」、調達部門においては「調達原価の低減」、生産部門においては「効率化」、また企業活動全体で『ITの強化とDX（デジタル・トランスフォーメーション）化』を推進し、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,488百万円（前年同四半期比16.9%減）、営業損失53百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常損失37百万円（前年同四半期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失124百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、8ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用174百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力の手提袋や紙器の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ953百万円減少して2,059百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は生産利益や仕入品の粗利益額が減少し、経費削減により販売管理費が減少したものの、前年同期に比べ174百万円減少して135百万円の損失となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に加えて一部の顧客における「レジ袋有料化」の前倒し実施されたことから、主力のレジ袋、ポリ手提袋、おむつ用製品の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ129百万円減少して3,009百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格低下等により粗利益額が増加し、加えて販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ133百万円増加して241百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は前年同期に比べ234百万円減少して1,418百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品が増加する一方で、包装用品、事務用品、梱包用品及びS・V・S商品が減少しております。セグメント利益（営業利益）は売上高減少により粗利益額が減少したものの、経費削減により販売管理費が減少し、前年同期に比べ7百万円増加して15百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,163百万円減少して15,124百万円となりました。流動資産は、たな卸資産が211百万円増加、前払費用が97百万円増加した一方、現金及び預金が856百万円減少、受取手形及び売掛金が430百万円減少、電子記録債権が216百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,205百万円減少の9,729百万円となりました。固定資産は、設備投資等により59百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が58百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費で71百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ41百万円増加の5,394百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,049百万円減少して11,982百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が43百万円増加、賞与引当金が123百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が488百万円減少、電子記録債務及び設備電子記録債務が494百万円減少、未払法人税等が85百万円減少、未払消費税等が151百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少して3,141百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が118百万円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失計上により124百万円減少、剰余金の配当で91百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.0%から19.8%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、緊急事態宣言が全面解除され、国内経済活動は緩やかな回復傾向にあるものの、首都圏を中心とした新型コロナウイルスの感染者数が増加となり感染拡大の第2波、第3波への懸念が高まっております。現時点において新型コロナウイルス感染症の収束時期を見通すことは難しく、2021年3月期の連結業績及び配当につきましては、合理的な算定が困難であることから、開示をしておりません。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,815	958
受取手形及び売掛金	4,700	4,270
電子記録債権	1,065	849
商品及び製品	2,397	2,541
仕掛品	329	299
原材料及び貯蔵品	473	570
その他	155	242
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	10,934	9,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,119	6,120
減価償却累計額	△5,132	△5,133
建物及び構築物(純額)	986	987
機械装置及び運搬具	10,100	9,989
減価償却累計額	△9,150	△9,078
機械装置及び運搬具(純額)	950	910
土地	826	826
リース資産	515	529
減価償却累計額	△253	△264
リース資産(純額)	261	265
建設仮勘定	6	5
その他	783	786
減価償却累計額	△713	△713
その他(純額)	70	72
有形固定資産合計	3,102	3,068
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	8	8
その他	74	70
無形固定資産合計	98	94
投資その他の資産		
投資有価証券	1,095	1,125
破産更生債権等	0	0
事業保険金	82	82
差入保証金	204	204
退職給付に係る資産	340	339
繰延税金資産	425	476
その他	4	4
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,152	2,232
固定資産合計	5,353	5,394
資産合計	16,288	15,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,699	3,211
電子記録債務	2,561	2,096
短期借入金	1,668	2,016
リース債務	204	197
未払金	479	527
未払法人税等	116	31
未払消費税等	221	69
賞与引当金	246	369
設備関係支払手形	12	25
設備関係電子記録債務	39	10
設備関係未払金	9	0
その他	156	122
流動負債合計	9,417	8,677
固定負債		
長期借入金	2,387	2,082
リース債務	408	403
役員退職慰労引当金	126	113
退職給付に係る負債	691	705
固定負債合計	3,614	3,304
負債合計	13,032	11,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,457	1,457
利益剰余金	743	527
自己株式	△263	△263
株主資本合計	3,312	3,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	19
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△9	△32
退職給付に係る調整累計額	△105	△98
その他の包括利益累計額合計	△210	△109
非支配株主持分	154	154
純資産合計	3,256	3,141
負債純資産合計	16,288	15,124

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,805	6,488
売上原価	6,462	5,245
売上総利益	1,342	1,242
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	688	640
給料及び手当	398	387
賞与引当金繰入額	55	60
退職給付費用	17	19
賃借料	44	44
旅費及び交通費	27	21
その他の経費	137	121
販売費及び一般管理費合計	1,370	1,295
営業損失(△)	△27	△53
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	22
持分法による投資利益	9	13
為替差益	5	—
受取賃貸料	7	3
作業くず売却益	2	0
その他	5	2
営業外収益合計	50	43
営業外費用		
支払利息	22	22
為替差損	—	1
賃貸費用	2	1
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	4	1
営業外費用合計	29	27
経常損失(△)	△7	△37
特別利益		
環境対策引当金戻入額	0	—
助成金収入	—	37
特別利益合計	0	37
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	109
感染症関連損失	—	93
特別損失合計	0	202
税金等調整前四半期純損失(△)	△7	△203
法人税、住民税及び事業税	19	16
法人税等調整額	△23	△97
法人税等合計	△4	△80
四半期純損失(△)	△2	△122
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△124



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△2	△122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	118
繰延ヘッジ損益	△6	△0
為替換算調整勘定	7	△15
退職給付に係る調整額	4	6
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△10
その他の包括利益合計	△97	99
四半期包括利益	△100	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,012	3,139	1,653	7,805	—	7,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,012	3,139	1,653	7,805	—	7,805
セグメント利益又は損失(△)	39	107	8	155	△182	△27

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,059	3,009	1,418	6,488	—	6,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,059	3,009	1,418	6,488	—	6,488
セグメント利益又は損失(△)	△135	241	15	121	△174	△53

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△174百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。